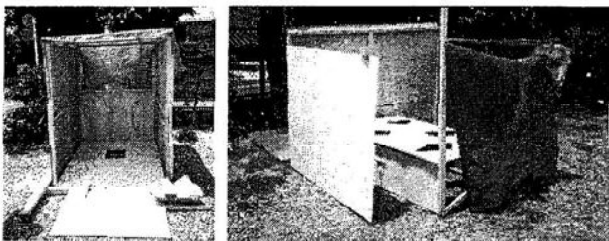


# トイレをつくる

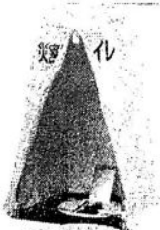
大地震が起こると電気・ガス・水道がストップしてしまふ恐れがあります。そうすると普段の便利な生活は送れなくなりますが、中でも深刻になるのはトイレです。水洗トイレに頼り切っている都会の生活では、水が途絶えるとすぐにトイレの問題が出てきます。

本町防災ひろばの本格利用では、耐震補強した下水道本管に直接放流できる仮設トイレを提案しています。これは実際に区内の新設の学校にも設置されている最新式の設備で、これまでの仮設トイレの悩みを解決してくれるものとなります。

ただこの設備はどこでもできるという訳ではありません。そのような時には穴を掘って簡易な汲み取り式にするとか、ビニール袋に入れておくとか、いろいろな方法が考えられて



います。またトイレで問題となるのは個室をどう作るかです。本格的な仮設トイレには写真のようなものがあります。このテントをどこかにしまっておけばいいのです。もし、これがない時はどうしましょうか。写真は昨年の防災まちづくり祭で実験的に作られた仮設トイレです。ベニヤ板を利用して作られました。左はスロープのついた個室タイプ、右は皆で使う洋風タイプです。2時間ほどで作った割には、なかなか本格的なトイレとなりました。



(エコライン 小野加瑞輝)

## 池袋本町防災まちづくりの会委員募集

### いっしょに考えるまちづくり

池袋本町防災まちづくりの会では、任期切れに伴い、新しい委員の募集を行います。

会には町会の代表者と公募委員で構成されています。会には水利井戸、道路、災害時活動、広報の4つの部会があり、それぞれ専門的な検討を行い、全体会でそれを協議するというかたちで進められています。

この他に防災まちづくりの会では、防災ひろば検討会にも出席して、広場の検討を合同で行っています。今年度は2000㎡の敷地の検討を行います。

まちづくりに興味やご意見をお持ちの方は是非ご参加ください。

- 参加資格 池袋本町地区(池袋本町一〜四丁目)で、土地や建物を持っているか、お住まいの方、営業している方
- 募集人数 20名程度
- 締め切り 平成14年5月15日(当日消印有効)
- 申込方法 郵便またはFAXで、下記の必要事項を書いてお申し込みください。
- 必要事項 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・FAX番号・職業・参加される動機
- 申込先 FAX5950-0803  
豊島区東池袋1-18-1  
豊島区住環境整備課防災地区係

## 事務局が変わります

これまで池袋本町防災まちづくりの会や本町防災ひろばの会の事務局は、財団法人豊島区街づくり社が行って来ました。このたび、区の組織変更にと

もなつて、事務局が変更になります。新しい事務局は、次のとおりです。

豊島区都市整備部住環境整備課防災地区係  
電話 03-3981-0489

## 今年も防災広場で



恒例の池袋本町防災まちづくり祭も今年で6回目。毎年少しずつ新しい企画を盛り込みながら、楽しんで学ぶ防災訓練をめざしています。

今年も会場は本町防災ひろば。昨年同様、前日から災害の時のテント村づくりを行う予定です。仮設テントづくりに参加をご希望の方は住環境整備課にお問い合わせください。

## 防災ひろばに鯉を泳がせましょう

今年の防災まちづくり祭の新しい企画は鯉のぼりです。使わなくなった鯉のぼりを集めて、ひろばにロープを張って泳がせます。ご家庭で眠ったままになっている鯉のぼりがありましたらご寄付をお願いします。

今年4月27日から5月19日まで泳がせたいと考えています。なお、鯉のぼりは会で保管し、毎年5月に泳がせたいと思いますが、お返しすることはできませんのでご了承ください。

●受付(電話をくだされば取りに伺います)  
(財)豊島区街づくり社 事業推進課  
電話：03-3981-4732

つれづれに一言  
世田谷の住宅街の一角に「ねこじやし公園」という名の公園がある。犬と一緒に散歩できる公園だ。  
トイレも公園のトイレとは思えないほど何時もきれいに清掃されていて「抵抗なく利用できた。ありがとう。」とタクシードライバーから感謝の手紙が届いたほどだ。ごみのポイ捨ても目立たない。住民は、この状態を維持するための努力をしている。と言っても特別のことではない。「犬のための公園」ではなく「みんなの公園」だから、自分の喜びだけでなく、ほかの人のことも考えて利用しているのだ。  
わが街の「防災ひろば」も犬と一緒に散歩できる。今は暫定利用だが、この先、本格利用になった時にも、みんなが快適に利用できるために、利用者一人ひとりが努力しよう。  
(ひろば利用者の投稿より)